

## 平成21年2月期 第3四半期財務・業績の概況

平成21年1月15日

上場会社名 株式会社 大 和 上場取引所 東証二部・大証二部  
 コード番号 8247 URL <http://www.daiwa-dp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 宮 二 朗  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営戦略本部長 (氏名) 横 川 孝 幸 TEL (076) 220-1100

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年2月期第3四半期の連結業績(平成20年3月1日～平成20年11月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期(前期)増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期第3四半期	56,999	△4.1	△779	-	△739	-	△2,333	-
20年2月期第3四半期	59,423	△1.7	△490	-	△342	-	△470	-
20年2月期	82,230	△0.8	△143	-	61	△92.3	△284	-

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
21年2月期第3四半期	△82	78	-	-
20年2月期第3四半期	△16	65	-	-
20年2月期	△10	08	-	-

(2) 連結財政状態

	総 資 産		純 資 産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
21年2月期第3四半期	69,467	14,821	21.3	526	44			
20年2月期第3四半期	75,866	18,467	24.3	653	93			
20年2月期	72,656	18,166	25.0	643	47			

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
	第3四半期末	
(基準日)	円	銭
20年2月期第3四半期	-	-
21年2月期第3四半期	-	-

## 3. 平成21年2月期の連結業績予想(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	77,000	△6.4	△960	-	△980	-	△2,790	-	△98	96

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

## (参考)個別業績の概要

## 1. 平成21年2月期第3四半期の個別売上高(平成20年3月1日～平成20年11月30日)

(%表示は対前年同四半期(前期)増減率)

	売上高	
	百万円	%
21年2月期第3四半期	53,004	△4.5
20年2月期第3四半期	55,498	△1.6
20年2月期	76,892	△0.8

## 2. 平成21年2月期の個別業績予想(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	72,300	△6.0	△740	-	△850	-	△2,460	-	△87	25

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

平成21年2月期第3四半期(3～11月)のわが国経済は、世界的な金融危機の影響から景気は急速に後退局面に入り、地域の消費動向にあっては一層の冷え込みもあり、極めて厳しい状況で推移いたしました。

こうした情勢のもと、百貨店業におきましては、大きく様変わりした顧客の購買行動に対応すべく、価格政策商品の拡充や、新たな生活提案の充実・接客サービスの向上に取り組むとともに、香林坊店の化粧品売場の改装を実施して参りましたが、売上動向につきましては、景気後退の局面から、婦人衣料品や美術品・宝飾品等の雑貨が低迷する等、極めて厳しい推移を余儀なくされました。

こうした状況に対し、更なる効率運営の営業に徹すべく、販売管理費の削減に努めて参りましたが、当第3四半期の連結業績は、売上高569億9千9百万円(前年同期比4.1%減)、営業損失7億7千9百万円、経常損失7億3千9百万円、四半期純損失23億3千3百万円となりました。

尚、今後につきましては、顧客のご要望に応える営業展開に取り組むとともに、大型投資の当面凍結や大胆な販売管理費の圧縮と併せて、徹底して採算性を重視する運営に努めて参ります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、694億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べて、31億8千9百万円減少しました。純資産は、148億2千1百万円となり前連結会計年度末に比べて33億4千5百万円減少しました。これは主に四半期純損失に伴う利益剰余金の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は21.3%となり、1株当たり純資産は526円44銭となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

景気後退により経営環境が悪化し、個人消費は今後も更に冷え込むと予測されるため、売上高が前回予想を下回る見通しとなりました。これに伴い営業利益、経常利益および当期純利益につきましても前回予想を下回る見通しとなりましたので、平成21年2月期通期業績予想を連結・個別ともに修正いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

棚卸資産については、実地棚卸を省略しております。

その他影響が僅少なものについては、一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(商品券等回収損失引当金)

従来、未回収の商品券等については、法人税法に規定する方法と同様の規定に基づき、一定の期間が経過した時に負債計上を中止して営業外収益に計上しておりましたが、「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」(日本公認会計士協会 監査・保証実務委員会報告第42号 平成19年4月13日)の公表を受け、当連結会計年度より、当該商品券が負債計上中止後に回収された場合に発生する損失に備えるため、過去の実績に基づく将来の回収見込額を引当金として計上することといたしました。

この結果、当期首時点で計上すべき過年度の引当金繰入額1,064百万円を特別損失として計上し、当第3四半期における要引当額361百万円を営業外費用に計上しております。これにより、従来の方法によった場合と比較して、経常損失は28百万円増加し、税金等調整前四半期純損失は1,092百万円増加しております。

5. (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成20年2月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成21年2月期 第3四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成20年2月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	8,042	7,079	△963	△12.0	10,649
2. 受取手形及び売掛金	7,042	5,897	△1,145	△18.0	5,205
3. 棚卸資産	10,156	9,852	△304	△3.0	8,585
4. その他	2,515	1,548	△967	△38.5	1,622
流動資産合計	27,757	24,376	△3,380	△12.6	26,063
II 固定資産					
1. 有形固定資産	32,792	32,327	△464	△1.4	32,489
2. 無形固定資産	25	25	△0	△0.7	25
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	5,449	3,232	△2,217	△40.7	4,637
(2) 諸保証金	9,584	8,760	△824	△8.6	9,165
(3) その他	256	744	487	190.1	275
投資その他の資産合計	15,291	12,737	△2,554	△16.7	14,077
固定資産合計	48,109	45,090	△3,019	△6.3	46,593
資産合計	75,866	69,467	△6,399	△8.6	72,656
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	10,039	8,465	△1,573	△16.7	6,473
2. 短期借入金	10,846	13,539	2,692	24.8	16,619
3. その他	23,632	20,837	△2,794	△11.9	19,158
流動負債合計	44,517	42,842	△1,675	△4.0	42,251
II 固定負債					
1. 長期借入金	8,187	7,673	△514	△6.3	8,036
2. その他	4,694	4,129	△564	△12.0	4,202
固定負債合計	12,881	11,802	△1,078	△8.4	12,238
負債合計	57,399	54,645	△2,753	△5.0	54,489
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	3,462	3,462	-	-	3,462
2. 資本剰余金	2,605	2,605	-	-	2,605
3. 利益剰余金	10,466	8,148	△2,317	△22.1	10,652
4. 自己株式	△569	△584	△14	2.5	△571
株主資本合計	15,964	13,632	△2,331	△14.6	16,148
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	1,780	466	△1,314	△73.8	1,295
2. 土地再評価差額金	722	722	-	-	722
評価・換算差額等合計	2,502	1,188	△1,314	△52.5	2,018
純資産合計	18,467	14,821	△3,646	△19.7	18,166
負債、純資産合計	75,866	69,467	△6,399	△8.6	72,656

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成20年2月期 第3四半期)	当四半期 (平成21年2月期 第3四半期)	増 減		(参考)前期 平成20年2月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	59,423	56,999	△2,424	△4.1	82,230
II 売上原価	45,360	43,423	△1,936	△4.3	62,755
売上総利益	14,063	13,575	△487	△3.5	19,475
III 販売費及び一般管理費	14,553	14,354	△198	△1.4	19,619
営業損失	490	779	288	-	143
IV 営業外収益					
1. 受取利息及び配当金	51	61	9	18.9	74
2. 持分法による投資利益	1	-	△1	-	3
3. その他	735	742	7	1.0	1,045
営業外収益合計	788	804	15	2.0	1,123
V 営業外費用					
1. 支払利息	256	315	59	23.0	373
2. 持分法による投資損失	-	23	23	-	-
3. その他	384	426	42	11.0	544
営業外費用合計	640	765	124	19.4	918
経常利益又は経常損失(△)	△342	△739	△397	-	61
VI 特別利益	-	-	-	-	2
VII 特別損失	268	2,302	2,034	-	401
税金等調整前四半期 (当期)純損失	611	3,042	2,431	-	337
税金費用	△140	△708	△568	-	△52
四半期(当期)純損失	470	2,333	1,863	-	284